

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年6月30日

【事業年度】 第59期(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

【会社名】 株式会社 筑波ゴルフコース

【英訳名】 TSUKUBA GOLF COURSE CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 篠原 督夫

【本店の所在の場所】 茨城県つくばみらい市高岡830番地の2

【電話番号】 0297(58)1515

【事務連絡者氏名】 総務部 谷田 川 公 洋

【最寄りの連絡場所】 茨城県つくばみらい市高岡830番地の2

【電話番号】 0297(58)1515

【事務連絡者氏名】 総務部 谷田 川 公 洋

【縦覧に供する場所】 該当事項はありません。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
決算年月	平成23年 3 月	平成24年 3 月	平成25年 3 月	平成26年 3 月	平成27年 3 月
売上高 (千円)	653,972	661,888	717,163	737,013	772,082
経常利益 又は経常損失() (千円)	33,172	3,297	59,273	85,725	94,571
当期純利益 又は当期純損失() (千円)	35,691	5,641	51,973	93,447	94,467
持分法を適用した 場合の投資利益 (千円)	—	—	—	—	—
資本金 (千円)	180,300	180,300	180,300	180,300	180,300
発行済株式総数 (株)	3,606	3,606	3,606	3,606	3,606
純資産額 (千円)	1,312,192	1,313,742	1,369,274	1,456,164	1,567,254
総資産額 (千円)	1,556,694	1,568,719	1,628,976	1,704,127	1,854,589
1株当たり純資産額 (円)	363,891	364,321	379,721	403,817	434,624
1株当たり配当額 (1株当たり中間配当額) (円)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
1株当たり当期純利益 又は当期純損失() (円)	9,897	1,564	14,413	25,914	26,197
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 (円)	—	—	—	—	—
自己資本比率 (%)	84.3	83.7	84.0	85.4	84.5
自己資本利益率 (%)	—	—	3.9	6.6	6.2
株価収益率 (倍)	—	—	—	—	—
配当性向 (%)	—	—	—	—	—
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	32,448	34,712	101,134	117,877	140,315
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	21,964	130,081	184,941	13,416	20,176
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	—	3,059	3,798	3,798	3,798
現金及び現金同等物 の期末残高 (千円)	364,172	265,744	178,138	278,800	395,140
従業員数 (名)	55 (37)	56 (38)	54 (41)	57 (43)	63 (41)

- (注) 1 当社は、連結財務諸表を作成しておりませんので、「最近5連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移」については、記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 持分法を適用した場合の投資利益については、持分法適用会社がないため記載しておりません。
- 4 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 5 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の年間平均雇用人員であります。
- 6 当社は非上場・非登録のため株価収益率は記載しておりません。

2 【沿革】

昭和33年 5 月 東京都中央区八重洲 1 丁目 2 番地の 4 に株式会社筑波ゴルフコースを設立(資本金 5 千万円)
昭和33年 9 月 ゴルフコース造成に着工
昭和34年 9 月 ゴルフコース完成、営業開始
昭和39年 7 月 本社を「東京都中央区銀座東 1 丁目 2 番地」に移転
昭和59年 5 月 クラブハウス改築
昭和60年 6 月 本社を「茨城県筑波郡伊奈町高岡830番地の 2 」(ゴルフコース内)に移転
(注) 平成18年 3 月27日に筑波郡伊奈町と筑波郡谷和原村は合併して「つくばみらい市」となっております。

3 【事業の内容】

当社は、単一セグメントであり、ゴルフ場の経営、軽飲食業、食品雑貨品類の販売、各種競技用品の販売、煙草小売業、その他の附帯事業を営んでおります。

4 【関係会社の状況】

当社は、関係会社(親会社、子会社及び関連会社等)を有しておりません。

5 【従業員の状況】

(1) 従業員数、平均年齢、平均勤続年数及び平均年間給与

(平成27年 3 月31日現在)

従業員数(名)	平均年齢(歳)	平均勤続年数(年)	平均年間給与(円)
63 (41)	38.8	10.5	3,283,566

(注) 1 従業員は就業人員であり、臨時雇用者数は、年間の平均人員を()外数で記載しております。
2 平均年間給与は、賞与及び基準外賃金を含んでおります。
3 当社は、単一セグメントであるため、セグメント別の従業員数は記載しておりません。

(2) 労働組合の状況

労働組合は、結成されておりません。

第2 【事業の状況】

1 【業績等の概要】

(1) 業績

当事業年度の日本経済は企業収益の改善が進み、株高や円安及び原油価格の下落などにより緩やかな回復基調をたどりつつあります。

一方、ゴルフ業界におきましては来場者数の増加が続いており、当クラブにおいても来場者数は回復基調にあり、当クラブ会員の延来場者数は大幅に増加しております。

当期の来場者数は昨年度に比べ2,492名増加の44,327名(前期比プラス6.0%)となりました。来場者数の内訳は、メンバー19,547名(前期比1,334名増加、プラス7.3%)、ゲスト24,780名(前期比1,158名増加、プラス4.9%)となりました。

当期の営業成績は、売上高は772,082千円(前期比35,068千円増加、プラス4.8%)と来場者数の増加が売上高増加に寄与いたしました。また、営業費用(売上原価、販売費及び一般管理費)は774,454千円(前期比342千円増加、プラス0.04%)となりました。この結果、営業損失は2,372千円(前期は37,098千円の損失)となりました。

また、営業外損益は会員登録手数料や投資有価証券の受取配当金等の収益96,943千円(前期比25,880千円の減少、マイナス21.1%)を計上した結果、経常利益は94,571千円(前期比8,845千円の増加、プラス10.3%)となりました。税引前当期純利益も同額の94,571千円、法人税・住民税及び事業税、法人税等調整額を差引いた当期純利益は94,467千円(前期比1,020千円の増加、プラス1.1%)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、140,315千円の収入(前期比22,437千円増加、プラス19.0%)となりました。

この収入の主な増加要因は、税引前当期純利益が前年同期比8,845千円(前期比プラス10.3%)と改善されたことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出17,772千円により、20,176千円の支出(前期比6,759千円増加、プラス50.4%)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、ファイナンス・リース債務の返済による支出1,757千円、設備関係割賦債務の返済による支出2,041千円により、3,798千円と前年と同額の支出となりました。

これにより、現金及び現金同等物の期末残高は前事業年度に比べ116,339千円増加し、当事業年度末は、395,140千円となりました。

2 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

該当事項はありません。

(2) 受注実績

該当事項はありません。

(3) 販売実績

当事業年度の販売実績を売上区分別に示すと、次のとおりであります。

売上区分別	当事業年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)	
	金額(千円)	前期比(%)
メンバーフィー	8,593	+6.7
ゲストフィー	220,069	+6.7
キャディーフィー	159,327	+6.3
食堂	110,719	+5.0
売店	23,219	+4.3
ロッカー料	7,693	+1.8
年会費	98,273	3.1
施設使用料	123,502	+5.9
その他	20,683	+5.8
計	772,082	+4.8

(注) 1 販売実績は、消費税等を含んでおりません。

2 総販売実績に対し10%以上に該当する販売先はありません。

3 【対処すべき課題】

新年度も経営の安定化を目標として必要な施策を執行するとともに、コースの改善、諸施設の維持、改修に取り組んでまいります。

更に、社員教育、研修にも引き続き取り組み、クラブ内でのサービスの向上に努めてまいります。

4 【事業等のリスク】

当社の経営成績及び財務状況等に影響を及ぼす可能性のある事項には以下のようなものがあります。なお、文中における将来に関する事項は当該有価証券報告書提出日（平成27年6月30日）現在において判断したものであります。

1．経済環境について

当社の属するゴルフ場業界は景気動向に左右されやすく、ゴルフ場間の低価格化競争が激化するおそれがあります。

当社は、クラブ会員を初めとしてご来場者の皆様方により満足を頂くことを最優先課題として低価格化ゴルフ場と差別化する方針で経営に当たっておりますが、利用料の低価格化競争の激化が当社の業績及び財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

2．季節的変動について

ゴルフ場の売上は、入場者数により変動します。当社の入場者数は、天候の影響も受け、春（3月～5月）及び秋（9月～11月）がピークとなり、夏（7月～8月）及び冬（1月～2月）は入場者数は総じて減少します。特に冬は積雪によりゴルフ場がクローズすることもあり売上は不安定となります。このような天候の変動が当社の業績及び財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

3．配当政策について

当社は、株主会員を主たるメンバーとする会員制ゴルフ場であり、株主の皆様方の要望に応えるべく必要な投資資金をコース作りやコース及び施設の維持管理に当てるため、利益は内部留保とし、配当を行わないこととしております。

5 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

6 【研究開発活動】

該当事項はありません。

7 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態の分析

（資産）

資産合計は、1,854,589千円（前事業年度比150,461千円増）となりました。

流動資産の増加（前事業年度比120,636千円増）は、現金預金116,339千円の増加が主な要因であります。

固定資産の増加（前事業年度比29,825千円増）は、繰延税金資産22,936千円及び投資有価証券23,960千円の増加が主な要因であります。

（負債）

負債合計は、287,334千円（前事業年度比39,371千円増）となりました。

流動負債の増加（前事業年度比52,479千円増）は、未払消費税18,166千円及び未払法人税等17,121千円、役員退職慰労引当金13,800千円等の増加が主な要因であります。

固定負債の減少（前事業年度比13,108千円減）は、役員退職慰労引当金11,400千円、長期未払金2,041千円及びリース債務1,757千円、繰延税金負債1,570千円の減少及び退職給付引当金3,661千円の増加によるものであります。

（純資産）

純資産合計は、1,567,254千円（前事業年度比111,090千円増）となりました。

純資産の増加要因は、当期純利益94,467千円の計上、その他有価証券評価差額金16,622千円の増加によるものであります。

(2) 経営成績及びキャッシュ・フローの分析

「1 業績等の概要」「(1)業績」及び「(2)キャッシュ・フローの状況」を参照。

第3 【設備の状況】

1 【設備投資等の概要】

当期は、コース管理関係ではグリーンモア6台、肥料散布機2台等を購入しております。

また、キャディーカート5台も購入しております。2月には練習場屋根設置工事が完了しました。

この結果、設備投資全体としては合計17,772千円の投資となりました。

なお、当期中に重要な設備の売却、撤去等はありません。

2 【主要な設備の状況】

平成27年3月31日現在

事業所名 (所在地)	帳簿価額(千円)							従業員数 (名)
	土地		建物	構築物	コース勘定	その他	合計	
	面積㎡	金額						
本社・ゴルフ場 (茨城県 つくばみらい市)	700,820 (2,719)	492,654	211,011	91,115	400,372	21,764	1,216,919	63 (41)

(注) (イ) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(ロ) 投下資本額は、有形固定資産の帳簿価額であります。

(ハ) その他の固定資産は、機械及び装置(3,036千円)、車両運搬具(6,582千円)、工具、器具及び備品(11,422千円)、リース資産(723千円)であります。

(ニ) 土地面積欄の()内は、借用中のものを示した外数であります。

(ホ) 従業員数欄の()内は、臨時従業員の年間平均雇用人員を示した外数であります。

3 【設備の新設、除却等の計画】

(1) 重要な設備の新設等

事業所名 (所在地)	設備の内容	投資予定額		資金調達方法	着手年月	完了予定 年月	完成後の 増加能力
		総額 (千円)	既支払額 (千円)				
茨城県つくばみらい市	練習場防球ネット設備	70,350	—	自己資金	2015年12月	2016年2月	場外飛球対策

(2) 重要な設備の除却等

重要な設備の除却等の計画はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	6,000
計	6,000

【発行済株式】

種類	事業年度末現在 発行数(株) (平成27年3月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成27年6月30日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	3,606	3,606	非上場	単元株制度を採用しておりま せん。
計	3,606	3,606	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
昭和57年10月21日	132	3,606	6,600	180,300	653,400	833,700

(注) 有償第三者割当

発行価格

1株につき5,000千円

資本組入額

1株につき50千円

(6) 【所有者別状況】

平成27年3月31日現在

平成27年3月31日現在

区分	株式の状況								単元未満株 式の状況 (株)
	政府及び 地方公共 団体	金融機関	金融商品 取引業者	その他の 法 人	外国法人等		個 人 その他	計	
					個人以外	個人			
株主数 (人)	—	4	13	244	—	24	768	1,053	—
所有株式数 (株)	—	12	300	912	—	72	2,310	3,606	—
所有株式数 の割合(%)	—	0.33	8.32	25.29	—	2.00	64.06	100.00	—

(7) 【大株主の状況】

平成27年3月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社大和証券グループ本社	東京都千代田区丸の内1-9-1	216	5.99
三菱UFJニコス株式会社	〃 文京区本郷3-33-5	39	1.08
大和証券投資信託委託株式会社	〃 中央区日本橋茅場町2-10-5	30	0.83
日本郵船株式会社	〃 千代田区丸の内2-3-2	24	0.67
北陸電力株式会社	富山県富山市牛島町15-1	15	0.42
東短ホールディングス株式会社	東京都中央区日本橋室町4-4-10	12	0.33
株式会社東京証券取引所	〃 中央区日本橋兜町2-1	12	0.33
太平洋汽船株式会社	〃 千代田区神田駿河台4-2-5	12	0.33
共栄火災海上保険株式会社	〃 港区新橋1-18-6	12	0.33
阪和興業株式会社	〃 中央区銀座6-8-2	12	0.33
株式会社プランタン	〃 台東区上野2-1-3	12	0.33
計	—	396	10.98

(8) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成27年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	—	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,606	3,606	—
単元未満株式	—	—	—
発行済株式総数	3,606	—	—
総株主の議決権	—	3,606	—

【自己株式等】

該当事項はありません。

(9) 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

2 【自己株式の取得等の状況】

【株式の種類等】 該当事項はありません。

(1) 【株主総会決議による取得の状況】

該当事項はありません。

(2) 【取締役会決議による取得の状況】

該当事項はありません。

(3) 【株主総会決議又は取締役会決議に基づかないものの内容】

該当事項はありません。

(4) 【取得自己株式の処理状況及び保有状況】

該当事項はありません。

3 【配当政策】

当社は、株主会員を主たるメンバーとする会員制ゴルフ場であり、株主の皆様方の要望に応えるべく必要な投資資金をコース作りやコース及び施設の維持管理に当てるため、利益は内部保留とし、配当を行わないこととしており、過去において配当を行ったことはありません。当期も、この方針を継続し、配当は行いません。

4 【株価の推移】

当社は、非上場につき該当事項はありません。

5 【役員の状況】

男性11名 女性0名 （役員のうち女性の比率0%）

役名	職名	氏名	生年月日	略歴及び他の会社の代表状況		任期	所有株式数 (株)
代表取締役 社長	—	篠原 督夫	昭和30年9月17日生	平成13年4月 19年4月 21年10月 23年10月 27年4月 27年6月	大和証券(株)投資銀行第1部担当 部長 同社同社内部監査部担当部長 同社盛岡支店長 ㈱大和ネクスト銀行内部監査部 当社総務部長 当社代表取締役社長(現在)	(注)2	—
取締役	—	鈴木 茂晴	昭和22年4月17日生	平成9年6月 10年6月 11年4月 12年3月 13年6月 14年6月 15年6月 16年6月 23年4月	大和証券(株)取締役 同社常務取締役 (株)大和証券グループ本社常務取 締役 当社取締役(現在) (株)大和証券グループ本社専務取 締役兼執行役員 大和証券エスエムピーシー(株)専 務取締役 同社代表取締役専務取締役 (株)大和証券グループ本社取締役 兼代表執行役社長(CEO)兼大和証 券(株)代表取締役社長 (株)大和証券グループ本社取締役 会長兼執行役兼大和証券(株)代表 取締役会長(現在)	(注)2	3
取締役	—	白川 真	昭和29年11月28日生	平成16年5月 18年4月 19年4月 21年4月 22年6月 24年4月	大和証券(株)執行役員 同社常務取締役 同社専務取締役 (株)大和証券グループ本社執行役 副社長兼大和証券(株)代表取締役 副社長 当社取締役(現在) (株)大和証券グループ本社執行役 副社長兼大和証券投資信託委託 (株)代表取締役社長(現在)	(注)1	—
取締役	—	日比野 隆司	昭和30年9月27日生	平成14年6月 16年5月 16年6月 19年4月 21年4月 23年4月 23年6月 24年4月	大和証券エスエムピーシー(株)執 行役員 (株)大和証券グループ本社常務執 行役員 同社取締役兼常務執行役 同社取締役兼専務執行役 同社取締役兼執行役副社長兼大和証 券エスエムピーシー(株)代表取締 役副社長 (株)大和証券グループ本社取締役 兼代表執行役社長(CEO)兼大和 証券(株)代表取締役社長兼大和証 券キャピタル・マーケット(株)代 表取締役社長 当社取締役(現在) (株)大和証券グループ本社取締役 兼代表執行役社長(CEO)兼大和 証券(株)代表取締役社長(現在)	(注)2	—

役名	職名	氏名	生年月日	略歴及び他の会社の代表状況		任期	所有株式数 (株)
取締役	—	岩 本 信 之	昭和31年6月14日生	平成17年4月 18年6月 20年4月 20年6月 21年4月 23年4月 23年6月 24年4月 25年4月	(株)大和証券グループ本社執行役 (CFO) 同社取締役兼執行役(CFO) 同社取締役兼常務執行役(CFO) 当社監査役 同社取締役兼専務執行役(CFO) (株)大和証券グループ本社取締役 兼代表執行役副社長(COO兼CFO) 兼大和証券キャピタル・マー ケッツ(株)代表取締役副社長 当社取締役(現在) (株)大和証券グループ本社取締役 兼代表執行役副社長(COO兼CFO) 兼大和証券(株)代表取締役副 社長 (株)大和証券グループ本社取締役 兼代表執行役副社長(COO)兼大 和証券(株)代表取締役副社長(現 在)	(注)2	—
取締役	—	草 木 頼 幸	昭和33年3月31日生	平成16年5月 19年4月 21年4月 24年4月 24年6月 25年6月	大和証券エスエムピーシー(株) (現大和証券㈱)執行役員 同社常務執行役員 大和証券㈱専務取締役 (株)大和証券グループ本社執行役 副社長兼大和証券(株)代表取締役 副社長 当社取締役(現在) (株)大和証券グループ本社取締役 兼執行役副社長兼大和証券(株)代 表取締役副社長(現在)	(注)1	—
取締役	—	目 黒 勇	昭和4年12月26日生	昭和40年4月 平成18年6月 19年6月 24年4月 26年6月	(株)目黒製作所常務取締役 筑波カントリークラブ グリーン委 員会委員長 同クラブ理事 同クラブ評議員(現在) 当社取締役(現在)	(注)1	3
取締役	—	早 川 芳 正	昭和18年1月25日生	平成5年6月 8年1月 9年6月 13年6月 19年6月 22年6月 26年6月	サンデン(株)取締役 同社常務取締役 同社専務取締役 同社代表取締役社長 同社取締役副会長 同社代表取締役副会長(現在) 当社取締役(現在)	(注)1	—
取締役	—	鈴 木 陸 郎	昭和12年8月10日生	昭和53年3月 平成16年6月 17年6月 19年6月 23年6月 27年6月	筑波カントリークラブ 競技委員会 委員 同クラブ競技委員会委員長 関東ゴルフ連盟(KGA)競技委員会委 員(規則部会シニアアドバイザー) 同クラブ 理事 同クラブ 評議員(現在) 当社取締役(現在)	(注)2	3

役名	職名	氏名	生年月日	略歴及び他の会社の代表状況		任期	所有株式数 (株)
監査役	—	松 井 敏 浩	昭和37年4月27日生	平成21年4月 23年4月 23年6月 24年4月 26年4月	(株)大和証券グループ本社執行役 (株)大和証券グループ本社常務執行役兼大和証券㈱執行役員 当社監査役(現在) (株)大和証券グループ本社常務執行役兼大和証券㈱常務執行役員 (株)大和証券グループ本社専務執行役兼大和証券㈱専務取締役(現在)	(注)4	—
監査役	—	深 井 崇 史	昭和28年4月30日生	平成14年6月 17年4月 19年4月 21年4月 22年4月 25年6月	大和証券(株)執行役員 同社常務取締役 同社専務取締役 (株)大和証券グループ本社執行役員副社長兼大和証券(株)代表取締役副社長 (株)大和証券グループ本社執行役員副社長兼(株)大和総研ホールディングス代表取締役社長(現在) 当社監査役(現在)	(注)3	—
計							9

- (注) 1 取締役の任期は平成26年3月期に係る定時株主総会終結の時から平成28年3月期に係る定時株主総会終結の時までであります。
- 2 取締役の任期は平成27年3月期に係る定時株主総会終結の時から平成29年3月期に係る定時株主総会終結の時までであります。
- 3 監査役の任期は平成25年3月期に係る定時株主総会終結の時から平成29年3月期に係る定時株主総会終結の時までであります。
- 4 監査役の任期は平成27年3月期に係る定時株主総会終結の時から平成31年3月期に係る定時株主総会終結の時までであります。

6 【コーポレート・ガバナンスの状況等】

(1) 【コーポレート・ガバナンスの状況】

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、株主を主たるメンバーとする会員制ゴルフ場であり、株主の皆様方はじめ来場者がより高い満足を得ることを目指して役職員結束して経営にあたるのがコーポレート・ガバナンスの課題と考えております。

コーポレート・ガバナンスに関する施策の実施状況

イ 経営上の意思決定、執行及び監督に係る経営管理組織

当社の取締役及び監査役は、当社設立の時の出資等の関係から、株式会社大和証券グループ本社グループを中心に選任されております。常勤取締役1名が業務執行にあっております。監査役2名は社外監査役であります。当社は、監査役制度採用会社であります。会社法上の大会社には該当せず、監査役会は設置していません。なお、社外監査役と当社との間に取引等の利害関係はありません。取締役会は、原則3ヶ月に1回開催し、当社の業務執行を決定し、取締役の職務の執行を監督しております。

ロ 会計監査の状況

当社は、金融商品取引法上の監査のため、有限責任監査法人トーマツと監査契約を締結しておりますが、同監査法人及び当社の監査業務に従事する同監査法人の業務執行社員と当社との間には特別の利害関係は無く、同監査法人からは、独立監査人としての公正・不偏な立場から監査を受けております。

当期において業務を執行した公認会計士の氏名、監査業務に係る補助者の構成については以下のとおりです。

・ 業務を執行した公認会計士の氏名

指定有限責任社員 業務執行社員：三 澤 幸 之 助
武 井 雄 次

・ 監査業務に係る補助者の構成：公認会計士1名、その他3名

八 役員報酬の内容

取締役の年間報酬額

常勤取締役1名 17,400千円

(注)上記の金額には、当事業年度に繰り入れた役員退職慰労引当金を含んでおります。

二 取締役の定数

当社の取締役は20名以内とする旨定款で定めております。

ホ 取締役の選任

当社の、取締役の選任決議は、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、出席した当該株主の議決権の過半数をもって行い、選任決議は、累積投票によらないものとする旨定款で定めております。

へ 株主総会の特別決議要件

当社は、株主総会の円滑な運営を目的として、会社法第309条第2項に定める株主総会の特別決議要件について、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の3分の2以上をもって行う旨を定款に定めております。

(2) 【監査報酬の内容等】

【監査公認会計士等に対する報酬の内容】

前事業年度		当事業年度	
監査証明業務に基づく報酬(千円)	非監査業務に基づく報酬(千円)	監査証明業務に基づく報酬(千円)	非監査業務に基づく報酬(千円)
5,200	—	5,200	—

【その他重要な報酬の内容】

該当事項はありません。

【監査公認会計士等の提出会社に対する非監査業務の内容】

該当事項はありません。

【監査報酬の決定方針】

当社の監査公認会計士等に対する監査報酬の決定方針は、同業他社と比較検討し経営会議にて決定されております。

第 5 【経理の状況】

1 財務諸表の作成方法について

当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号。)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、事業年度(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)の財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより監査を受けております。

3 連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、連結財務諸表を作成しておりません。

1 【財務諸表等】

(1) 【財務諸表】

【貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年 3月31日)	当事業年度 (平成27年 3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	278,800	395,140
売掛金	24,247	30,769
商品	2,441	2,259
原材料及び貯蔵品	8,343	9,228
繰延税金資産	16,954	14,108
その他	138	176
貸倒引当金	450	570
流動資産合計	330,476	451,113
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,025,592	1,025,592
減価償却累計額	799,167	814,580
建物（純額）	226,424	211,011
構築物	654,247	662,747
減価償却累計額	560,837	571,631
構築物（純額）	93,409	91,115
機械及び装置	53,953	53,953
減価償却累計額	48,752	50,916
機械及び装置（純額）	5,200	3,036
車両運搬具	101,525	105,290
減価償却累計額	95,501	98,708
車両運搬具（純額）	6,023	6,582
工具、器具及び備品	135,975	141,320
減価償却累計額	125,915	129,897
工具、器具及び備品（純額）	10,060	11,422
コース勘定	400,372	400,372
土地	492,654	492,654
リース資産	3,100	3,100
減価償却累計額	1,756	2,376
リース資産（純額）	1,343	723
有形固定資産合計	1,235,489	1,216,919
無形固定資産		
ソフトウエア	-	148
リース資産	2,283	1,229
電話加入権	622	622
無形固定資産合計	2,906	2,001
投資その他の資産		
投資有価証券	117,740	141,700
長期預金	17,457	19,861
その他	56	56
繰延税金資産	-	22,936
投資その他の資産合計	135,254	184,555
固定資産合計	1,373,650	1,403,475
資産合計	1,704,127	1,854,589

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年 3 月31日)	当事業年度 (平成27年 3 月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,510	5,415
リース債務	1,757	1,757
未払金	20,698	20,101
未払費用	25,336	27,179
未払法人税等	7,292	24,413
未払消費税等	7,450	25,616
前受金	320	339
預り金	5,099	5,472
賞与引当金	16,900	17,750
役員退職慰労引当金	-	13,800
流動負債合計	89,366	141,846
固定負債		
長期未払金	2,487	446
リース債務	2,050	292
繰延税金負債	1,570	-
退職給付引当金	79,457	83,118
役員退職慰労引当金	11,400	-
会員預り金	61,630	61,630
固定負債合計	158,596	145,488
負債合計	247,963	287,334
純資産の部		
株主資本		
資本金	180,300	180,300
資本剰余金		
資本準備金	833,700	833,700
資本剰余金合計	833,700	833,700
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	450,000	450,000
繰越利益剰余金	12,028	82,439
利益剰余金合計	437,971	532,439
株主資本合計	1,451,971	1,546,439
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,192	20,814
評価・換算差額等合計	4,192	20,814
純資産合計	1,456,164	1,567,254
負債純資産合計	1,704,127	1,854,589

【損益計算書】

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成26年 3 月31日)	当事業年度 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成27年 3 月31日)
売上高		
入場料	214,307	228,662
キャディフィー	149,895	159,327
食堂売店売上	127,683	133,939
その他	245,126	250,152
売上高合計	737,013	772,082
売上原価		
食堂売店売上原価		
商品期首たな卸高	2,421	2,441
当期商品仕入高	14,390	14,705
食堂材料費	38,427	38,563
合計	55,238	55,711
商品期末たな卸高	2,441	2,259
食堂売店売上原価合計	52,796	53,451
売上総利益	684,216	718,630
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	160	120
コース管理費	44,216	45,565
キャディー人件費	94,285	111,916
給料及び手当	203,159	210,006
賞与引当金繰入額	16,900	17,750
退職給付費用	8,800	8,537
役員退職慰労引当金繰入額	2,400	2,400
福利厚生費	54,075	56,219
減価償却費	41,523	37,247
水道光熱費	24,909	24,747
租税公課	24,957	24,662
業務委託費	97,561	84,419
その他	108,364	97,409
販売費及び一般管理費合計	721,314	721,002
営業損失()	37,098	2,372
営業外収益		
受取利息	63	80
会員登録手数料	76,050	71,210
受取配当金	24,000	24,000
受取補償金	18,422	-
その他	4,503	1,661
営業外収益合計	123,039	96,951
営業外費用		
雑損失	216	8
営業外費用合計	216	8
経常利益	85,725	94,571
税引前当期純利益	85,725	94,571
法人税、住民税及び事業税	9,900	29,102
法人税等調整額	17,622	28,999
法人税等合計	7,722	103
当期純利益	93,447	94,467

【株主資本等変動計算書】

前事業年度(自 平成25年 4 月 1 日 至 平成26年 3 月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
				別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	180,300	833,700	833,700	450,000	105,475	344,524	1,358,524
当期変動額							
当期純利益					93,447	93,447	93,447
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）							
当期変動額合計	—	—	—	—	93,447	93,447	93,447
当期末残高	180,300	833,700	833,700	450,000	12,028	437,971	1,451,971

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	10,750	10,750	1,369,274
当期変動額			
当期純利益			93,447
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）	6,558	6,558	6,558
当期変動額合計	6,558	6,558	86,889
当期末残高	4,192	4,192	1,456,164

当事業年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
				別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	180,300	833,700	833,700	450,000	12,028	437,971	1,451,971
当期変動額							
当期純利益					94,467	94,467	94,467
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）							
当期変動額合計	—	—	—	—	94,467	94,467	94,467
当期末残高	180,300	833,700	833,700	450,000	82,439	532,439	1,546,439

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	4,192	4,192	1,456,164
当期変動額			
当期純利益			94,467
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）	16,622	16,622	16,622
当期変動額合計	16,622	16,622	111,090
当期末残高	20,814	20,814	1,567,254

【キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)			
	前事業年度 (自 平成25年 4月 1日 至 平成26年 3月31日)	当事業年度 (自 平成26年 4月 1日 至 平成27年 3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前当期純利益	85,725	94,571	
減価償却費	41,523	37,247	
貸倒引当金の増減額（ は減少）	160	120	
賞与引当金の増減額（ は減少）	10	850	
退職給付引当金の増減額（ は減少）	3,355	3,661	
役員退職慰労引当金の増減額（ は減少）	2,400	2,400	
受取利息及び受取配当金	24,063	24,080	
売上債権の増減額（ は増加）	5,838	6,522	
たな卸資産の増減額（ は増加）	1,843	702	
仕入債務の増減額（ は減少）	1,423	904	
未払金の増減額（ は減少）	623	597	
未払消費税等の増減額（ は減少）	258	18,166	
その他	7,100	2,236	
小計	104,948	128,255	
利息及び配当金の受取額	24,063	24,080	
法人税等の支払額	11,134	12,020	
営業活動によるキャッシュ・フロー	117,877	140,315	
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	2,403	2,404	
有形固定資産の取得による支出	11,542	17,772	
貸付金の回収による収入	530	-	
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,416	20,176	
財務活動によるキャッシュ・フロー			
ファイナンス・リース債務の返済による支出	1,757	1,757	
設備関係割賦債務の返済による支出	2,041	2,041	
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,798	3,798	
現金及び現金同等物の増減額（ は減少）	100,661	116,339	
現金及び現金同等物の期首残高	178,138	278,800	
現金及び現金同等物の期末残高	1 278,800	1 395,140	

【注記事項】

(重要な会計方針)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

其他有価証券

時価のあるもの

決算期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定)

2. たな卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)によっております。

商品、原材料及び貯蔵品

最終仕入原価法

3. 固定資産の減価償却の方法

(1)有形固定資産(リース資産を除く)

定率法

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物 10年～50年

構築物 10年～30年

(2)リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

4. 引当金の計上基準

(1)貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えて、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討して必要額を計上しております。

(2)賞与引当金

従業員に対する賞与支給に備えて、将来の支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。

(3)退職給付引当金

従業員に対する退職給付に備えて、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産に基づき計上しております(簡便法)。

(4)役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく当期末要支給額を計上しております。

5. キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

6. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税は、税抜方式によっております。

(貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(損益計算書関係)

該当事項はありません。

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	3,606	—	—	3,606

当事業年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	3,606	—	—	3,606

(キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	当事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
現金及び預金	278,800千円	395,140千円
現金及び現金同等物	278,800	395,140

(リース取引関係)

1. ファイナンス・リース取引

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

(a)有形固定資産

主として、ゴルフ場システムに係るパソコン機器(工具、器具及び備品)であります。

(b)無形固定資産

主として、ゴルフ場システムに係るソフトウェアであります。

リース資産の減価償却の方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については預金・投資信託を中心に、効率的な方法によって資金運用を行っており、銀行借入等は行っておりません。投資有価証券については、半期ごとに時価の把握を行っております。

(2) 金融商品の内容及びリスク並びにリスク管理体制

営業債権である売掛金は、顧客の信用リスクに晒されています。当該リスクに関しては、取引先ごとの期日管理及び残高管理を行っております。

投資有価証券である投資信託は、市場価格の変動リスクに晒されていますが、価格推移を日々確認しながら運用しております。

未払金は、そのほとんどが1ヵ月以内の支払期日であります。

会員預り金は、会員の求めに応じ返還されるものであります。

資金調達に係る流動性リスクについては、総務部が資金繰計画を作成するなどの方法により管理しています。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれておりません(注2参照)。

前事業年度(平成26年3月31日)

(単位:千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金及び預金	278,800	278,800	—
(2)売掛金	24,247		
貸倒引当金(1)	450		
	23,797	23,797	—
(3)投資有価証券			
其他有価証券	117,740	117,740	—
資産計	420,338	420,338	—
(1)未払金	20,698	20,698	—
負債計	20,698	20,698	—

(1)売掛金に個別に計上している貸倒引当金を控除しております。

当事業年度(平成27年3月31日)

(単位:千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金及び預金	395,140	395,140	—
(2)売掛金	30,769		
貸倒引当金(1)	570		
	30,199	30,199	—
(3)投資有価証券			
其他有価証券	141,700	141,700	—
資産計	567,040	567,040	—
(1)未払金	20,101	20,101	—
負債計	20,101	20,101	—

(1)売掛金に個別に計上している貸倒引当金を控除しております。

(注1)金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資 産

(1)現金及び預金、並びに(2)売掛金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3)投資有価証券

公表されている基準価額によっております。

負 債

(1)未払金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(注2)会員預り金(貸借対照表計上額61,630千円)は、据え置き期間は到来しているものの、償還実績がなく、また、いつ償還されるかが明らかでないことから、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上記表には含めておりません。

(注3)金銭債権の決算日後の償還予定額

前事業年度(平成26年3月31日)

(単位:千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	278,800	—	—	—
売掛金	24,247	—	—	—
合計	303,048	—	—	—

当事業年度(平成27年3月31日)

(単位:千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	395,140	—	—	—
売掛金	30,769	—	—	—
合計	425,910	—	—	—

(有価証券関係)

その他有価証券

前事業年度(平成26年3月31日)

(単位：千円)

区分	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの 投資信託	117,740	111,309	6,431
合計	117,740	111,309	6,431

当事業年度(平成27年3月31日)

(単位：千円)

区分	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの 投資信託	141,700	111,309	30,390
合計	141,700	111,309	30,390

(デリバティブ取引関係)

当社は、デリバティブ取引を利用しておりませんので、該当事項はありません。

(退職給付関係)

前事業年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、従業員の退職給付に充てるため、積立型の確定給付制度を採用しております。

確定給付企業年金制度では、給与と勤務期間に基づいた一時金又は年金を支給しております。なお、当社が有する確定給付企業年金制度及び退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

2. 簡便法を適用した確定給付制度

(1) 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

退職給付引当金の期首残高	76,102	千円
退職給付費用	8,800	"
退職給付の支払額	2,916	"
制度への拠出額	2,529	"
退職給付引当金の期末残高	79,457	"

(2) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

積立型制度の退職給付債務	85,516	千円
年金資産	6,058	"
	79,457	"
非積立型制度の退職給付債務	-	"
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	79,457	"
退職給付引当金	79,457	"
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	79,457	"

(3) 退職給付費用

簡便法で計算した退職給付費用 8,800 千円

3. 確定拠出制度

該当事項はありません。

当事業年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、従業員の退職給付に充てるため、積立型の確定給付制度を採用しております。

確定給付企業年金制度では、給与と勤務期間に基づいた一時金又は年金を支給しております。なお、当社が有する確定給付企業年金制度及び退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

2. 簡便法を適用した確定給付制度

(1) 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

退職給付引当金の期首残高	79,457	千円
退職給付費用	8,537	"
退職給付の支払額	2,167	"
制度への拠出額	2,709	"
退職給付引当金の期末残高	83,118	"

(2) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

積立型制度の退職給付債務	91,491	千円
年金資産	8,372	"
	83,118	"
非積立型制度の退職給付債務	—	"
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	83,118	"
退職給付引当金	83,118	"
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	83,118	"

(3) 退職給付費用

簡便法で計算した退職給付費用	8,537	千円
----------------	-------	----

3. 確定拠出制度

該当事項はありません。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当事業年度 (平成27年3月31日)
繰延税金資産		
(流動)		
賞与引当金	5,882千円	5,731千円
繰越欠損金	8,182	—
その他	2,888	8,561
小計	16,954	14,293
(固定)		
退職給付引当金	27,658	26,190
その他	10,552	6,321
小計	38,210	32,512
繰延税金資産小計	55,164	46,805
評価性引当額	37,542	184
繰延税金資産計	17,622	46,621
繰延税金負債		
(固定)		
その他有価証券評価差額金	2,238千円	9,576千円
繰延税金負債合計	2,238	9,576
繰延税金資産負債の純額	15,383千円	37,045千円

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の主な項目別内訳

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当事業年度 (平成27年3月31日)
法定実効税率	37.2%	34.8%
(調整)		
住民税均等割	2.7%	2.5%
交際費等永久に損金に算入されない項目	1.0%	0.4%
評価性引当額の増減	48.6%	39.5%
復興特別法人税分の税率差異	1.2%	— %
税率変更による期末繰延税金資産の減額修正	—%	2.3%
その他	0.1%	0.4%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	9.0%	0.1%

3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「所得税法等の一部を改正する法律」が平成27年3月31日に公布されたことに伴い、当事業年度の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算（ただし、平成27年4月1日以降解消されるものに限る）に使用した法定実行税率は、前事業年度の34.81%から、回収又は支払が見込まれる期間が平成27年4月1日から平成28年3月31日までのものは32.29%、平成28年4月1日以降のものについては31.51%にそれぞれ変更されております。

この税率の変更による影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ゴルフ場の経営及びこれに付帯する事業を営む単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自 平成25年 4 月 1 日 至 平成26年 3 月31日)

1．製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	入場料	キャディフィー	食堂売店売上	施設使用料	年会費	その他	合計
外部顧客 への売上高	214,307	149,895	127,683	116,634	101,381	27,111	737,013

2．地域ごとの情報

(1) 売上高

損益計算書の売上高は、すべて本邦の外部顧客への売上高のため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

貸借対照表の有形固定資産は、すべて本邦に所在している有形固定資産のため、該当事項はありません。

3．主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当事業年度(自 平成26年 4 月 1 日 至 平成27年 3 月31日)

1．製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	入場料	キャディフィー	食堂売店売上	施設使用料	年会費	その他	合計
外部顧客 への売上高	228,662	159,327	133,939	123,502	98,273	28,376	772,082

2．地域ごとの情報

(1) 売上高

損益計算書の売上高は、すべて本邦の外部顧客への売上高のため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

貸借対照表の有形固定資産は、すべて本邦に所在している有形固定資産のため、該当事項はありません。

3．主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

【関連当事者情報】

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

前事業年度 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成26年 3 月31日)		当事業年度 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成27年 3 月31日)	
1 株当たり純資産額	403,817円	1 株当たり純資産額	434,624円
1 株当たり当期純利益	25,914円	1 株当たり当期純利益	26,197円
なお、潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 算定上の基礎

1 1 株当たり純資産額

項目	前事業年度 (平成26年 3 月31日)	当事業年度 (平成27年 3 月31日)
貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	1,456,164	1,567,254
普通株式に係る純資産額(千円)	1,456,164	1,567,254
普通株式の発行済株式数(株)	3,606	3,606
普通株式の自己株式数(株)	—	—
1株当たりの純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	3,606	3,606

2 1 株当たり当期純利益金額

項目	前事業年度 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成26年 3 月31日)	当事業年度 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成27年 3 月31日)
当期純利益(千円)	93,447	94,467
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	93,447	94,467
期中平均株式数(株)	3,606	3,606

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

【附属明細表】

【有価証券明細表】

【その他】

銘 柄			投資口数(口)	貸借対照表計上額 (千円)
投資有価証券	その他有価証券	ダイワ米国リート・ファンド	200,000,000	141,700
		小 計	200,000,000	141,700
計			200,000,000	141,700

【有形固定資産等明細表】

資産の種類	当期首残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (千円)	当期末残高 (千円)	当期末減価 償却累計額 又は償却累 計額 (千円)	当期償却額 (千円)	差引当期末 残高 (千円)
有形固定資産							
建物	1,025,592	—	—	1,025,592	814,580	15,413	211,011
構築物	654,247	8,500	—	662,747	571,631	10,793	91,115
機械及び装置	53,953	—	—	53,953	50,916	2,164	3,036
車両運搬具	101,525	3,765	—	105,290	98,708	3,206	6,582
工具、器具及び備品	135,975	5,345	—	141,320	129,897	3,982	11,422
コース勘定	400,372	—	—	400,372	—	—	400,372
土地	492,654	—	—	492,654	—	—	492,654
リース資産	3,100	—	—	3,100	2,376	620	723
有形固定資産計	2,867,420	17,610	—	2,885,031	1,668,111	36,180	1,216,919
無形固定資産							
ソフトウェア	—	162	—	162	13	13	148
リース資産	5,270	—	—	5,270	4,040	1,054	1,229
電話加入権	622	—	—	622	—	—	622
無形固定資産計	5,892	162	—	6,055	4,053	1,067	2,001

(注) 1. 当期増加額のうち主なものは、次のとおりであります。

構築物	練習場屋根設置	8,500千円
車両運搬具	バンカー均し機(1台)	2,030千円
	キャディーカート(5台)	1,735千円
工具、器具及び備品	グリーンモア(6台)	3,760千円

【社債明細表】

該当事項はありません。

【借入金等明細表】

金利の負担を伴う債務の金額が、負債及び純資産の合計額の100分の1以下であるため、財務諸表等規則第125条の規定により記載を省略しております。

【引当金明細表】

区分	当期首残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (目的使用) (千円)	当期減少額 (その他) (千円)	当期末残高 (千円)
貸倒引当金	450	120	-	-	570
賞与引当金	16,900	17,750	16,900	-	17,750
役員退職慰労引当金	11,400	2,400	-	-	13,800

【資産除去債務明細表】

該当事項はありません。

(2) 【主な資産及び負債の内容】

流動資産

(イ)現金及び預金

区分		金額(千円)
現金		2,771
預金の種類	普通預金	382,267
	定期預金	10,101
	小計	392,368
合計		395,140

(ロ)売掛金

相手先別内訳

相手先	金額(千円)
三菱UFJニコス(株)	12,435
(株)ジェーシービー	10,342
三井住友カード(株)	2,406
ユーシーカード(株)	852
(株)クレディセゾン	734
利用者 (注)1	1,315
会員 (注)2	2,682
合計	30,769

(注) 1 プレイ未収入金

2 年会費未収入金

滞留及び回収状況

当期首残高 (千円)	当期発生高 (千円)	当期回収高 (千円)	当期末残高 (千円)	回収率(%)	平均滞留期間(日)
24,247	674,121	667,599	30,769	95.6	14.9

(注) 1 当期発生額には、消費税等が含まれております。

2 回収率、平均滞留期間の算出方法は次のとおりであります。

$$\text{回収率} = \frac{\text{当期回収額}}{\text{当期首残高} + \text{当期発生額}} \times 100$$

$$\text{平均滞留期間} = \frac{\text{当期首残高} + \text{当期末残高}}{2} \div \frac{\text{当期発生額}}{365}$$

(ハ)商品

品目	金額(千円)
ボール他売店品物	2,259

(ニ)原材料及び貯蔵品

区分	金額(千円)
原材料 食堂材料	1,425
小計	1,425
貯蔵品 コース管理薬品等	7,802
小計	7,802
合計	9,228

流動負債

(イ)買掛金

相手先	金額(千円)
ノダ	1,216
木村農園	708
山長(株)三和	523
タキシマ精肉店	511
(株)三和	447
その他 (注)	2,007
合計	5,415

(注) オオシロミート 他

(3) 【その他】

該当事項はありません。

第 6 【提出会社の株式事務の概要】

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	3月31日
株券の種類	1株券、2株券、3株券、5株券
剰余金の配当の基準日	3月31日
1単元の株式数	規定なし
株式の名義書換え	
取扱場所	茨城県つくばみらい市高岡830番地の2 株式会社 筑波ゴルフコース
株主名簿管理人	なし
取次所	なし
名義書換手数料	1,000,000円(3株)
新券交付手数料	100,000円
単元未満株式の買取り	
取扱場所	規定なし
株主名簿管理人	規定なし
取次所	規定なし
買取手数料	規定なし
公告掲載方法	官報
株主に対する特典	株主は当クラブ会員となり、優先的且つ安価に当ゴルフコースの利用が出来る。

第 7 【提出会社の参考情報】

1 【提出会社の親会社等の情報】

当社は、親会社等はありません。

2 【その他の参考情報】

当事業年度の開始日から有価証券報告書提出日までの間に次の書類を提出しております。

(1) 有価証券報告書及びその添付書類

事業年度 第58期(自 平成25年 4 月 1 日 至 平成26年 3 月31日)平成26年 6 月27日関東財務局長に提出。

(2) 半期報告書

第59期中(自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日)平成26年12月19日関東財務局長に提出。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の監査報告書

平成27年 6月29日

株式会社 筑波ゴルフコース
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士 三 澤 幸 之 助

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士 武 井 雄 次

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている株式会社筑波ゴルフコースの平成26年4月1日から平成27年3月31日までの第59期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、キャッシュ・フロー計算書、重要な会計方針、その他の注記及び附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社筑波ゴルフコースの平成27年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する事業年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 1 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（有価証券報告書提出会社）が別途保管しております。
- 2 XBRLデータは監査の対象には含まれていません。